



Shikoku
Cancer Center News
No.89

独立行政法人国立病院機構 四国がんセンター

四国がんセンター ニュース



2025
冬の号

基本理念 患者さんの立場にたち人格を尊重し、科学と信頼に基づいた最良のがん医療を提供します。



(久万高原町 畑野川 撮影：俊野 健治)

2025年 新年のご挨拶

新年、明けましておめでとうございます。

北陸では1年前の震災に加え夏には集中豪雨、さらに年末からの豪雪といった災害と、一方国外ではウクライナや中東の戦争や紛争など、避難所や仮設住宅で新年を迎えた方もおられ、世界に平和な日々に戻ることを祈るばかりです。

能登半島へは四国がんセンターからも救護班を派遣し、国立病院機構のチームと共に救護支援活動を行いました。こういった救護活動を通じ今後起こりうる災害や震災にも役立てるべく対策も始めています。

本分であるがん医療では、科学技術の進化に伴う診断・治療法の開発が大きく進み、がんゲノム医療をはじめとする診断・薬物療法がますます精緻化し、治療成績も向上しています。四国内で唯一のがんゲノム医療拠点病院として最新のがん治療の恩恵を安全かつ確実に患者さんに提供することは、私たちの使命であると考えています。今まで治療効果が乏しかったがんのタイプでも、がん遺伝子に対応する薬剤が適応できれば従来の治療成績を大幅に改善できるようになってきました。当院では手術ロボットも2台体制としたほか、早期乳がんに対し切らな

いうラジオ波治療のできる施設として愛媛県で唯一の認定を受けています。治療法の工夫により、患者さんの身体的負担が少なく治療できるよう個別に対応しています。

ご高齢の方や併存疾患がある方では、併存疾患センターを活用し、かかりつけの先生方と綿密に協力連携する体制を整え、今まで以上に幅広く切れ目のないがん治療を心掛けています。治療に伴う不安や懸念に対しては、医師はもとより看護師・医療ソーシャルワーカーなど多職種で患者さんもお家族もサポートするなど、患者さん本位のがんトータルケアとしての医療を提供しており、がん専門病院ならではのきめ細かいがんケア・情報をお届けし、満足いただけるよう努めています。

患者さんから『四国がんセンターにかかって良かった。相談してよかった』と書いていただけるよう、さらに工夫を重ねていきます。患者さんの笑顔や満足に私達は元気をいただき、また患者さんにお返しできるよう日々心掛けてまいりたいと思っています。今年もよろしくご支援お願い申し上げます。



(院長 山下 素弘)



がん治療

最前線

放射線治療科

多くのがんは正常の細胞と比べて放射線に弱いという性質をもっています。放射線治療ではがん病巣に放射線を照射し、がん細胞を破壊、消滅させます。放射線治療はがん治療の3本柱（手術、放射線治療、薬物療法）の1つで、がん治療において重要な役割を果たしています。放射線治療装置の設置はがん診療連携拠点病院の必須要件ともなっています。

照射する放射線が弱すぎるとがん細胞が生き残り、強すぎると正常の細胞も大きなダメージを受けてしまうため、ちょうど良い量の放射線を照射しなければなりません。がんの種類や状態に応じて適切な放射線量を選び、さらに、がんの周囲にある正常臓器を傷めないように注意深く治療しています。

放射線治療では、リニアックという大型の放射線治療装置（写真の背景に写っている装置）がよく用いられます。リニアックで発生させた放射線を体の外からがん病巣に向けて正確に照射します。放射線を照射する時には熱い、痛いという苦痛はありません。治療台上で動かないように寝ているだけで終わります。近年はコンピューターで放射線量を調節するIMRT（強度変調放射線治療）、定位放射線治療、画像誘導放射線治療などの非常に精度の高い放射線照射技術が使われるようになり、少ない副作用で、高い治療効果が得られるようになってきました。その他、強い放射線を出す物質（放射性物質）を小さなカプセルに詰めたものを子宮がんや前立腺がんの病巣付近に挿入し、至近距離から強い放射線を照射する小線源治療も当院で行っています。



放射線治療は、放射線でがんの根治を目指す根治照射、乳がんや頭頸部がんの手術後の局所再発を防止するための術後照射、骨転移の痛みなどを軽減する緩和照射など、いろいろな形で行われています。放射線治療医師は、それぞれの患者さんに最適な放射線治療が行えるように、放射線の照射範囲、照射線量、照射方法などを決め、放射線治療のプランを作成します。さらに、放射線治療が順調に進んでいるか？副作用が出ていないか？といったことをチェックするために放射線治療中の患者さんを定期的に診察しています。当院では、放射線治療に精通した放射線治療専門放射線技師、医学物理士、がん放射線療法看護認定看護師などと共にチームを作って、より良い放射線治療が行えるように努めております。近年は治療効果を高めるため、放射線治療と薬物療法（抗がん剤や免疫チェックポイント阻害剤など）が併用されることが多く、薬物療法を行う各診療科との密接な連携も心がけています。

放射線治療を必要とする患者さんに、最新の知見にもとづいた高精度の放射線治療を提供できるように努めて参りますので、どうぞよろしくお願い致します。

（放射線治療部長 濱本 泰）



治験 CHIKEN CORNER

ちけん

「当院では治験を実施しています」

●現在参加者募集中の治験等情報

- 肺がん24件
- 乳がん7件
- 卵巣がん3件
- 子宮体がん3件
- 子宮頸がん2件
- 胃がん1件
- 胆道がん1件
- 大腸がん2件

こちらは、治験・臨床試験支援室です。このコーナーでは、ただ今、参加者募集中の治験等の情報を提供しています。なお、当院HPにて、詳細情報を公開中です。



https://shikoku-cc.hosp.go.jp/rinsyo/trial/clinical_trial_during_the_experiment/

下記の件数は企業治験、医師主導治験、製造販売後臨床試験の「現在参加者募集中の治験等情報」です。

- リンパ腫3件
- 膀胱がん1件
- 前立腺がん2件
- 頭頸部がん1件
- 固形がん6件

（令和7年1月6日現在）



今回は皮膚科を、よくあるご質問への答えをもって紹介いたします。

「皮膚科、あったのですね？」

四国がんセンターでは平成30年10月から皮膚科外来がスタートしました。しばらくはAブロックの診察室をお借りする立場でしたが、令和2年にSブロックの通院治療室の隣に併存疾患センターができてからはその一室で診察をしています。6年たってもまだ「皮膚科、あったのですね？」と言われるのがちょっと寂しいです。

「がんセンターの皮膚科で水虫の相談をしていいの？こんなことで受診して良いの？」

当院の皮膚科は、いわゆる皮膚の病気について種類を問わず診療しています。検査用の顕微鏡は常にかたわらにありますので、もちろん水虫も。その他、かゆくて困っている皮膚疾患にも、悪性ではないかと心配している皮膚腫瘍も対応いたします。がんセンターに来られる前から治療されていたアトピー性皮膚炎などの慢性の皮膚の病気についても、当科で治療を続けることが可能です。そして、一番多い受診理由は、抗がん剤が原因で起きる皮膚の変化で

す。最近の抗がん剤は皮膚に症状を伴う薬剤が多く、ときにはその症状と付き合いながらがん治療を受ける必要があります。どうぞお気軽に受診してください。

「シミの治療は？」

申し訳ございません。美容への対応、自費診療はしておりません。特殊な治療機器もありません。

「併存疾患センターって何ですか？」

併存疾患センターには、皮膚科以外の診療科もあります。いずれも皆さまが、がんの治療を心配なく受けられるようお手伝いをする診療科です。今後、順次登場すると思いますので、どうぞご期待ください。

(皮膚科/副院長 藤山 幹子)



Sブロック表示



皮膚科診察室 場所



皮膚科診察室 顕微鏡



エキスパートナース・メディカルスタッフ

EXPERT NURSE・MEDICAL STAFF

Part.65

がん相談支援センターと がん専門相談員

がん相談支援センターをご存知でしょうか。全国のがん診療連携拠点病院に設置され、がんに関する困り事や悩みを相談できる窓口です。がんと診断されたとき、ショックを受け戸惑うことがあります。そのような中で、検査や治療の事など決めないといけないことがたくさんあり、診察室で理解できていても、後で疑問や不安を覚えることがあります。病気の事や治療、副作用について情報を探したり、療養生活、医療費や仕事、子供へ病気のことをどう伝えたらいいのかが等、気がかりが出てきたりとさまざまな面で不安になる人も少なくありません。そのような時は一人で悩まず、がん相談支援センターへご相談ください。相談員が話をお伺いし、信頼できる情報をもとに患者さんおひとりおひとりの「らしさ」を大切にして療養生活と治療選択ができるようお手伝いします。

がん相談支援センターには、国立がん研究センターの研修を修了した「がん専門相談員」が配置されており、当院には現在6名のがん専門相談員（看護師・医療ソーシャルワーカー）

がいます。また、相談対応や支援の質を維持・向上させる体制について一定の基準を満たした施設として「国立がん研究センター認定がん相談支援センター」の認定を受け、相談支援の質向上にも取り組んでいます。

対象は患者さん、ご家族、親しい方等です。今すぐ、利用する必要がなくても、困った時に利用できる相談窓口があることを知っておいていただけますと幸いです。「ちょっと聞いてみよう」「何を相談したらよいか分からないけど、心のモヤモヤを聞いてもらおう」からでも構いません。相談は無料です。是非ご利用ください。

受付：平日8：30～17：15

電話相談（連絡先）：089-999-1114

対面相談（窓口）：外来フロアA受付の向い



がん相談支援センター
ホームページ



(医療社会事業専門員
関木 裕美)

クリスマス会



12月19日（木）にクリスマス会を開催しました。

このコンサートは、入院中においても季節の行事に参加し、音楽を通して楽しいひとときを過ごしていただくことを目的としています。

開催前の2階外来ホールでは、院内保育所の9名の園児がサンタの衣装を着てそわそわとしながら出番を待っていました。園児のご家族や患者、病院スタッフは小さなサンタさんのそわそわする様子を暖かく見守っていたと思います。いよ



いよ演奏が始まると、園児の動きに合わせて参加者がリズムを取って拍子を合わせ、笑顔があふれる会場となりました。

続いてのピアノ演奏では、クリスマスに合わせた選曲で少し早いクリスマスの雰囲気を感じていただきました。

残念ながら会場で参加できない方も、病室テレビの視聴でクリスマスを感じていただけたのではないかと思います。

イベントの間、裏で着々と準備をしていただいたスタッフの方々のご協力のおかげで無事開催できたこと、本当にありがとうございます。来年も皆様が楽しめるよう計画していきたいと思います。

（看護師長 久保 好枝）



治療中の働き方に関する相談を実施しています！

～就職・就労相談状況のご報告～ 平成29年4月～令和6年11月

《新しく仕事を探している方のための就職相談》

相談延べ人数 835人 就職延べ件数 137件

《仕事を続けたい方のための就労相談》

相談延べ件数 107件

相談者の
声

「病院で仕事の相談ができと思わなかった」
「話ができ、気持ちが楽になった」
「病気になった私でも、できる事があると思えた」

治療と
仕事の
両立支援



四国がんセンターは、
がん患者さんの“働きたい！”
をサポートしています。
お気軽に、スタッフまで
お声掛けください。

ちりようさ

厚生労働省「治療と仕事の両立支援」キャラクター

【お問い合わせ】がん相談支援センター TEL:089-999-1114

☑ がんセンターだより

「ひまわりサロン」で仲間と出会う

暖だんでは、毎月第3木曜午後に「ひまわりサロン」が開催されています。患者さんやご家族、友人などが集って、自由に語り合う場です。

病気への不安、副作用や後遺症への対処の工夫、周囲とのコミュニケーションなどが話題になります。

参加した方の多くが、こう口にします。

「やっと本音が言えた」

「分かり合える人がいてよかった」

ひまわりサロン開催の最初のキッカケは1冊の黄色いノートでした。20年近く前、当時の図書コーナーに、入院治療中の患者さんが治療のことや気持ちのことを書き込んだ黄色いノートを置きました。それを手にした別の患者さんが自分のことを書き込み、また別の患者さんがイラストを描き…ノートは何冊にもなり顔もわからない患者さん同士のささやかな交流が広がりました。最初にノートを置いた患者さんは、対面での交流の場を切望し、それに応えようと病院関係者が協議をして、「ひまわりサロン」が誕生したのは2011年のことでした。

ある時、最初からずっと涙ぐんでいる参加者がいらっしゃいました。子どもに病気のことをどう伝えればいいのか悩んでいたのです。たまたま同じ経験のある“先輩”ママ患者さんが参加していて、「わたしも悩みましたよ」と言って、具体的に自分の実体験を伝えていました。

また、難治性がんで長く治療を続けている参加者と、これ

から治療を始める参加者が隣同士になり、治療経過を超えて、気持ちの折り合いの付け方を語り合っている時もありました。

「他の方のお話を聴くだけでいい、自分はまだ話せないから」という参加者もいらっしゃいます。

「ひまわりサロン」では、ピア・サポーターが運営のお手伝いをしています。ピアとは仲間という意味で、愛媛県では、患者さんやご家族としてのがん経験を基にコミュニケーションなどの研修を受けた人をピア・サポーターとして登録する制度があり、「ひまわりサロン」には毎回2人のピア・サポーターが派遣され活動しています。

参加者が自由に思いを語り合えるよう全体の進行をしつつ、場面に応じて自分の経験を語ります。科学的根拠に基づいた情報や、医療者による相談支援が必要な時には、関係先を紹介することもあります。参加者が、お互いの思いを大事にして安心して語り合える場を守るよう、病院関係者と協力しながら努めています。

ひまわりサロン開催のキッカケとなったノートの表紙には、こんな言葉が書かれていました。

「ひとりじゃないよ」

みなさんのご参加をお待ちしています。

(NPO 法人愛媛がんサポートおれんじの会
ピア・サポーター 松本 陽子)



ひまわりサロンでの様子

医者のつづき リレーエッセイ



●第二十九回 先生！扇子は筆記用具ですか？

前はボケの話をしたが、新年なのでもっと前向きで、立派な話を書きたい。

急にがんゲノム医療拠点病院には分子病理専門医が一人必要ということになったので昨年の暮れにうん十年ぶりに資格試験を受けることになった。申し込んでもないのにベテランの病理専門医は5年前に『“暫定”分子病理専門医』と勝手に認定されていたのだが、今年が最終年だから、同年配の受験生が多い。

試験？上等だ。こちとら、落語と試験は落としたことがない。ただ、割とかわいいとは言え、還暦を迎えた今、大きなハードルが3つ立ちはだかる。2つは書字力と記憶力だ。

最近文章を紙に直接書かなくなった。後で見直しても読めないから、ノートもメモも取らない。筆記試験に備え『あいうえお・・・わをん』と練習で何回か書いてみたが、「ア、アンゴウ？」と言われた・・・orz・・・ただ、試験は大丈夫。所詮病理医対象だし、受験者の半分くらいはわたしと同程度の書字力だろう。

小中学生の頃は参考書をページごと絵のように覚えられたものだが、もうそんな記憶力はない。脳が泥のようで、覚えてもボロボロと崩れ落ちる。しかし、毎日真面目に試験勉強をしていると記憶力は返ってきた、ある程度。アミノ酸略号のような意味のない暗号まで、色々覚えられるようになってくる。・・・♪G・A・V・L・I・S・T・D・E・N・Q・C、それはそうとーメチオニン♪・・・とか

残る最大のハードルは飲酒力だ。試験会場は年末の銀座である。記憶力や書字力と比べ、日々研鑽に怠りはないのが酒を飲む力だ、しかし、それでも昔より遥かに弱くなった。一日にジョッキ10杯程度飲むと、昔と違って翌日役に立たない。日々の研鑽が役に立たないのを見ると、知力や筆記なんかには比べて遥かに奥が深いのだろう。強敵だ！・・・ま、飲まなきゃ良いだけなので、前日は銀座でほどほどに済ませて、試験終わりの帰りにしこたま飲むことにした。

と言うわけで万全な体制で試験を受けた。

試験会場で、試験の注意事項を告げられる。『机の上には受験票と筆記用具だけ。飲み物は飲んで良いけど置くのは机の下。試験中にトイレに行きたくなった人は、試験官に申し出るように』

試験は午前と午後に分かれ、午後の試験は2時間。終わった後長々と解答用紙・問題用紙の確認と回収、その後総評と続く。前日飲み過ぎてはないのだが、ほっとすると尿意が来る。そこで回収中に試験官と一緒にトイレへ。先着の同年配3人と一人若い受験生が不動で背を向けチューリップの前行儀良く整列していた。イジイジしていると若い人が終了して、わたしも同年配の横に整列。還暦オーバーの4カード！先に用件を済まして手を洗う。先着の3人は不動のままであった。

受験結果発表は3月だが、勝ったなと思いトイレを出た。

(病理科医長 寺本 典弘)



使い慣れた小道具が並んでいると落ち着いて試験が受けられるものだ



本格的な冬をむかえて空気が乾燥し、風邪やインフルエンザの流行が心配です。予防のポイントは「栄養」「睡眠」「衛生」「運動」です。バランスの良い食事を摂ること、十分な睡眠をとること、手洗い・うがいをしっかりとすること、適度にカラダを動かすことを心がけたいですね。またビタミンC、ビタミンA、たんぱく質を意識してとるようにしましょう。

ビタミンCは体内に溜めておくことができないので、毎日の食事でビタミンCを取り入れましょう。冬に旬を迎える温

州みかんやイチゴはビタミンCが豊富に含まれ手軽にとれるのでおすすめです。温州みかんは皮の色が濃く、ハリとツヤがあって、ヘタが小さいものを、イチゴをスーパーで買うときは、傷がなく、ヘタの近くまで色が鮮やかでハリがあるものを選ぶと良いようです。またビタミンCを多く含む果物にレモンがあります。レモンの旬は冬と春です。3月から4月、および10月に出荷量が増え、12月がピークとなります。爽やかな香りと酸味が特徴的で、調味料やジュース、デザートなどに適しています。この頃では薄く輪切りにしたレモンを鍋に入れて食べることもありますね。私自身、初めて作ったときは「え～？鍋に輪切りレモン？」と半信半疑でしたが、食べてみると爽やかな風味で食べやすさに驚きました。色々生活にとりいれながら寒い冬を乗り切りましょう。

(栄養管理室長 酒永 智子)

がんセンター 俳句ポスト

ハイ!一句



作品が選ばれましたら、四国がんセンターニュース（年4回発行）と選者発行の「俳句ライフマガジン『100年俳句計画』」（隔月誌）へ掲載するほか、当院ホームページ等インターネットやテレビ、ラジオなどの各種媒体にてご紹介させていただきます。

選者：三瀬明子(俳句ライフマガジン「100年俳句計画」発行人)



天の川光の粒子噴く鯨

(御転婆さん 65歳・男性)

天の川の輝き。それは、鯨の吹き上げる潮が実は光の粒子であり、その光の粒が集まったものだ、というファンタジー。美しく幻想的で、スケールの大きい一句です。同時投句「捨案山子この世に居場所探しけり」は、捨て案山子に自身を重ねたような哀愁漂う一句。ご紹介以外にも闘病秀句をたくさん詠まれています。

入選 星を見て自分を見れば夢がある

(レコードさん 68歳・男性)

星にあるもの、それは「輝き」。自分にあるもの、それは「夢」。素敵な対比です。夢があるから心折れずに頑張れる、と感じます。

入選 赤とんぼ石鎚山に雲ひとつ

(影法師さん 70歳・男性)

近くにいる赤とんぼと、遠くの石鎚山、そして空の雲。遠近感や色など、一句の中での対比が巧みです。

入選 陽にあたりいろとりどりの秋の山

(かっぴいさん 39歳・男性)

紅葉の進んだ山々、陽が当たればより美しいですね。秋の山は「山粧う・やまよそう」とも言います。まさにかっぴいさんの詠まれている光景ですね。

入選 病窓に城山探す鰯雲

(山花さん 80歳・女性)

日頃は城山の見える家に住まれているのでしょうか。つい探してしまいがけ見当たらず見えるのは鰯雲だけ。せつない気持ちが伝わります。

入選 十三夜能登の夜半も照らしておくれ

(M.Tさん 女性)

十三夜は、旧暦九月十三日の月のこと。いまだ復興半ばの能登を明るく照らしてほしいという祈るような気持ちが伝わります。

【入院生活にエールの二句】

入院衣病と戦うユニフォーム

(愛媛のみちこさん 58歳・女性)

すれちがう仲間の人にがんばれを

(桧垣千春さん 88歳・女性)

ユニフォームと思えば力もわいてくる。辛さをユーモアに変えて。同じ病と戦っているから「仲間の人」。仲間がいれば少しは勇気がわいてくる。強さと尊さを感じる二句。



皆さんの「一句」募集中

患者さんのご要望で生まれた四国がんセンターの俳句ポスト、「ハイ！一句ポスト」。大変ご好評をいただいております。設置場所は、各階エレベーター前、図書コーナー、総合案内、患者支援センター「向日葵」で、作品は随時募集中です。患者さん、ご家族、面会の方、職員、どなたでも気軽にご投稿ください。皆さんの「自慢の一句」「楽しい一句」をお待ちしております。





ツバキ (東温市北方)
撮影:井上 博民

外来診療一覧表

- 新患受付時間 7:30~12:00
- 診療時間 8:30~17:15
- 休診日:土・日・祝日及び年末年始

担当医は変更となる場合があります
のでご了承ください

環境

“いで湯と城と文学の街”ここ愛媛の松山はノスタルジックあふれる城下町。

当院はこの城下町の南東に位置し、東に霊峰石鎚、北に道後温泉、西に伊予灘を望み、自然に恵まれた最高の療養環境に立地しています。

交通機関も伊予鉄巡回バスの運行など便を増やすことで来院も便利になりました。

今後も患者さんの視点に立った細かな配慮を心がけ、西日本を代表する「がん専門病院」として精進いたします。



院内にて
FREE Wi-Fi
がご利用でき
ます。

四国がんセンター【公式】

Facebook

Instagram



四国がんセンター

〒791-0280

愛媛県松山市南梅本町甲160

TEL: 089-999-1111

FAX: 089-999-1100

https://shikoku-cc.hosp.go.jp

当院は予約制を行っており、予約患者さんを優先しております

診療科		月	火	水	木	金
消化器	内科	梶原(化)	仁科(化)	仁科(化)	梶原(化)	○坂口
		西出(内)	—	久門(内)	日野(化)	小森(化)
		—	—	○日野	—	長谷部(内)
	外科	大鶴	浅木	大野	△大鶴	浅木
		—	羽藤	—	柿下	—
		—	—	—	池谷	—
呼吸器	内科	高津	高津	—	小島	—
		—	大田	—	御厨	—
		—	—	—	—	—
	内科新患	○加藤	二宮	—	加藤	☆上月
		○近藤	○加藤	—	○二宮	近藤
		○近藤	○加藤	○二宮(FAX)	—	—
緩和ケア内科	外科	山下(素)	上野	土生	重松	重松
		—	△植木	—	—	—
		—	—	—	○末久	—
	予禁煙外来	—	—	—	—	—
		—	—	—	—	—
		—	—	—	—	—
泌尿器科	内科	末久	成木	成木	三浦(耕)	三浦(耕)
		橋根(FAX紹介のみ)	担当医	橋根	担当医	安宅
		—	—	—	—	—
	外科	瀬戸	—	安宅	—	深谷
		河野	—	河野	—	瀬戸
		—	—	—	—	—
血液腫瘍内科	内科	阿部	吉田	阿部	吉田	—
		—	—	—	—	—
		—	—	—	—	—
	外科	○濱田	担当医	担当医	○濱田	担当医
		竹原/坂井	予婦人科医師	竹原	予婦人科医師	藤本
		横山	—	藤本	—	坂井
婦人科	内科	日比野	—	孤下	—	横山/日比野
		—	—	—	—	—
		—	—	—	—	—
	外科	青儀	高島	高橋(三)	青儀	高島
		河内	高橋(三)	河内	山下(美)	宇野
		—	山下(美)	—	—	—
乳腺外科	内科	△山下(昌)	○山下(昌)	—	—	○土谷
		門田	担当医	門田	担当医	橋本
		—	—	—	—	—
	外科	橋本/田口	—	橋本	—	田口
		青木	—	岡	—	岡
		—	—	—	—	—
形成外科	内科	○杉原	△杉原	○杉原	—	○杉原
		○畑	○畑	○畑	—	○畑
		—	—	—	—	—
	外科	井上	井上	井上	古川	井上
		古川	古川	古川	○井上	古川
		菅原	桐山	清水	菅原	細川
放射線	診断科	濱本	濱本	長崎	神崎	神崎
		—	—	—	—	—
		—	—	—	—	—
	治療科	原田	★首藤(聡)/☆正岡	—	—	武智
		—	—	—	—	—
		—	—	—	—	—
予麻酔/疼痛外来	内科	—	—	—	—	—
		—	—	—	—	—
		—	—	—	—	—
	外科	藤山	藤山	藤山	藤山	藤山
		—	—	—	—	—
		—	—	—	—	—
併存疾患センター	内科	—	—	—	—	—
		—	—	—	—	—
		—	—	—	—	—
	外科	○倉田	○倉田/△東※1	○倉田	○倉田	△船田※1
		—	—	—	—	—
		—	—	—	—	—
予ストーリー外来	内科	—	—	—	—	—
		—	—	—	—	—
		—	—	—	—	—
	外科	橋根	高津	○橋根	○小島	—
		—	△青儀	—	—	—
		—	—	—	—	—
予原発不明がん診療科	内科	担当医	担当医	担当医	担当医	担当医
		—	—	—	—	—
		—	—	—	—	—
	外科	△山本	○山本※2	○山本	○山本※2	山本
		—	△山本	—	△大住	—
		—	—	—	△寺本	—
予セカンドオピニオン	内科	—	—	—	—	—
		—	—	—	—	—
		—	—	—	—	—
	外科	—	—	—	—	—
		—	—	—	—	—
		—	—	—	—	—
予がん専門病院	内科	—	—	—	—	—
		—	—	—	—	—
		—	—	—	—	—
	外科	—	—	—	—	—
		—	—	—	—	—
		—	—	—	—	—

予…予約のみ ○…午前のみ △…午後のみ ★…奇数週 ☆…偶数週 (化)…化学療法担当 (内)…内視鏡治療担当
※診療担当は変更する場合がありますので、事前にご確認ください。

TRAFFIC ACCESS 交通のご案内



車で越える場合

- 松山空港から車で 約45分
- JR松山駅から車で 約30分
- 松山市駅から車で 約25分
- 松山自動車道
- 松山インターから車で 約20分
- 川内インターから車で 約20分
- 東温スマートインターから車で 10分

電車・バスで越える場合

